

arcserve® - INFORMATION

2015年6月1日

各位

Arcserve Japan

新製品『Arcserve® UDP v5 Update4』

リリース情報のご案内

日本語版ダウンロード開始のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日は、「Arcserve® Unified Data Protection v5 Update4 (以下、Arcserve UDP Update4)」日本語版のダウンロードが開始されますので、ここにご案内申し上げます。

皆様に置かれましては、今後とも、「Arcserve® シリーズ」の拡販にご支援賜りますようお願い申し上げます。

敬具

◆◆Arcserve® Unified Data Protection v5 Update4 の主な機能

1. VMware vSphere 6.0 のサポート

VMware vSphere® 6 上で Arcserve UDP をサポートしました。VMware vSphere® 6 は VMware の仮想化ソリューションの最新版です。650 以上の新機能や機能拡張が実現されており、高可用性、レジリエンス、実行可能なオンデマンドのクラウド・インフラ、アプリケーションの保護や管理の機能が提供されています。

2. JRE 1.8 のアップグレード

Update 4 には、JRE 1.7 の提供終了とセキュリティの脆弱性修正に対応するために Java Runtime Environment 1.8 が同梱されています。JRE の最新版のサポートによって、Arcserve UDP Update 4 は悪意ある攻撃に対する安全性がより向上しました。

3. Virtual Disk Development Kit (VDDK) 5.5.4 のアップグレード

Update 4 に含まれる Virtual Disk Development Kit (VDDK) 5.5.4 はセキュリティの更新に加えて vSphere 6.0 のサポートが追加されました。vSphere 6.0 でバックアップとリストアで拡張されたトランスポートモードが機能しないというセキュリティに起因する問題が VDDK 5.5.4 で解消されました。

4. Exchange の共有、およびリンクされたメールボックスの詳細レベルリストアのサポート

エージェントベースとエージェントレスベースのどちらでバックアップした場合でも、Exchange の共有またはリンクのメールボックスのメールボックス、フォルダー、メール単位の詳細レベルリストアを、元の場所か別の場所に対して実行できます。

5. 自動更新の再有効化

無効にしていた Arcserve UDP のコンソールとエージェントでの自動更新の仕組みを Update 4 で再度有効にしました。Update 4 では、手動でダウンロードして全てのマシンに更新をインストールすることなく Arcserve を簡単に効率的にアップデートすることができます。

UDP Update4 の概要は以下に掲載されています：

<http://www.arcserve.com/~media/Arcserve/files/Product%20Briefs/udp-update4-guide-jp.pdf>

- ◆ **動作要件** : 動作要件の詳細につきましては、以下の弊社 Web サイトに公開されています。

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/201865549-arcserve-UDP-5-0-Software-Compatibility-Matrix>

- ◆ **Arcserve UDP Update4 のダウンロードにつきまして**

6月2日(火)より Arcserve UDP Update4 を [製品ダウンロードページ](#) よりダウンロードいただけます。

*パッケージ製品については [サポートページ](#) より Arcserve UDP Update4 のモジュールをダウンロードしていただきますようお願いいたします。

- ◆ **各ライセンス製品の価格、SKU、JAN コードについては、UDP v5 から変更ありません。**

その他、ご不明な点につきましては、弊社ジャパン ディレクト (Tel : 0120-410-116) までご連絡いただきますようお願い致します。

以上